

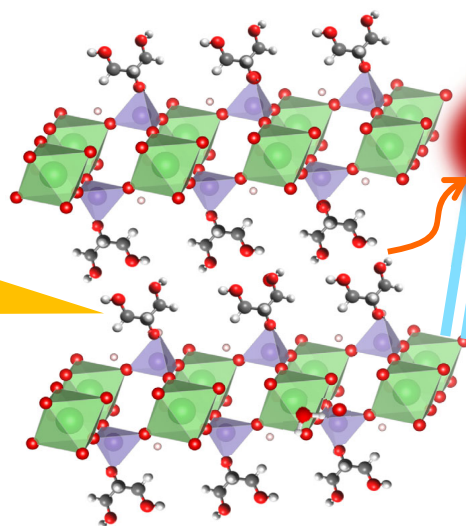
「多機能型バイオマテリアルの創成」

次世代型の生体組織修復用バイオマテリアル

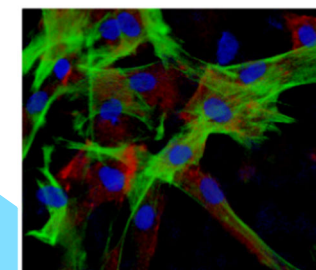
pHの変化、生体分子の濃度、温度、応力など
環境の発する刺激に対して機敏に応答、機能を発現する多機能性が重要

生体内での物理刺激

(pHの変化、生体分子の濃度、
温度、応力など)



無機イオン・
薬剤の徐放



刺激への機敏な応答

(イオン徐放、分解、細胞接着
のスイッチングなど)

<研究内容>

- ・ ケイ酸、リン酸層状化合物を骨格とした有機無機複合材料の合成
- ・ 無機イオン種に対する哺乳類（ヒトなど）細胞応答の解析